

【革新、挑戦、変革で社会価値創造企業へ 25年目標新たなビジョン、中計策定 国内外市場の競争力強化など推進 野崎 ACKG 社長】

革新、挑戦、変革で社会価値創造企業へ

25年目標 新たなビジョン、中計策定

国内外市場の競争力強化など推進

野崎ACKG社長

ACKGグループは、25年を目標年次とした、新たなビジョンと中期経営計画を策定している。ビジョンは「社会価値創造企業」自らが社会を創造する担い手になる」とし、中期経営計画では、基本方針として事業創造・拡大、人材確保・育成、基盤整備を、強化方針として個の強化、国内外市場の競争力強化、連携の強化をそれぞれ掲げ、25年の経営目標として売上高700億円以上などを目指し、鋭意取り組みを進める。野崎秀則社長(写真)は4日、東京・渋谷区の本社でビジョン等に関する説明を行い、「安全、安心、快適、活力の価値に加え、魅力ある社会づくり、持続可能な社会づくりを提

供し、更なる社会価値を創造して、社会価値創造企業を目指す」とした。(10月1日付一部既報)



新たなビジョンでは、「革新」「挑戦」「変革」によって社会の変化を柔

軟に捉え、既往の事業を「革新」「挑戦」「変革」一貫して事業を拡大し、い分野に事業を拡大し、更なる社会価値の創造の美現に取り組み。「革新」では、事業の上流から下流までを実施する垂直統合と複数の事業の複合化による総合事業や、先進技術の導入に向けた研究開発の推

進により、新たな社会価値を創造するほか、総合事業を地域や行政区画などの所定のエリアで実施するエリアマネジメントを展開する。「挑戦」では、自らが投資し、事業者としてビジネスを行う事業経営を推進することにも、官と民が持つるリソースを最大限に有効活用する官民連携に積極的に取り組む。「変革」では、受動型ビジネスから主導型ビジネスへ転換す

る。中期経営計画の基本方針の事業創造・拡大では、グループの力を結集して、事業創造・拡大をワンストップで推進し、事業領域の拡大、新たな価値の創造で国内外市場を拡大する。人材確保・育成では、企業ブランドの強化による多様な人材の確保と、プロフェッショナル人材の育成を進める。基盤整備では、事業創造・拡大などに向けて、組織、仕組み、ITなどグループ内外の連携に資するグループ共通基盤の整備を推進する。強化方針における個の強化では、インフラ整備・保全、防災、交通(高度化・総合化)、地方創生、海外新規開拓の5つの重点化事業でナンバーワン・オンリーワンの技

術やサービスを確立する。国内外市場の競争力強化では、国内と海外の2軸で競争力を強化し、各市場における事業を拡大する。国内はエリアマネジメントを全国に展開し、海外は海外拠点整備や新たなグローバルビジネスを展開する。連携の強化では、グループ内外のリソースの効果的な活用により、ブランド力をより一層向上させる。また、総合事業においては、インフラ整備・保全、防災、交通、地方創生、海外新規開拓に取り組み、既に一部のプロジェクトを推進している。神奈川県開成町における地方創生の取り組み事例では、あしがり郷(瀬戸屋敷)の指定管理事業の実施、子会社化した「瀬戸酒造店」による地域産業の再生、グリーンインフラを活用した地域環境の再生(ホテルの再生)

を進めている。海外新規開拓では、25年に向けて海外主要拠点を中南米、欧米に拡大することや、現在6か所ある現地法人を約2倍に拡大することを掲げている。

研究開発では、オンラインコンサルタンツに「AI推進室」を設置し

ており、リサーチアンドソリューションとともに、グループ全体のAI技術の活用を促進する。野崎社長は、「社会インフラ創造企業から『社会価値創造企業』とし、社会課題を解決して、新たな社会価値を提供する」としている。